

# 桑野っ子通信

令和六年一月十一日発行  
桑野小学校学校新聞

発行責任者 校長 角田 雅仁

## 三学期五十一日間が始まる

### 夢や目標をもつてがんばる子どもを応援

#### 謹賀新年

明けましておめでとござい  
ます。本年もどうぞ宜しくお願  
いいたします。一月九日に三学期を  
元気にスタートしました。能登半  
島地震や航空機事故の発生で、国  
内は波乱の幕開けとなりました。  
災害や事故を対岸の火事とするこ  
となく、非常事態発生時に学校が  
子ども達を守るためにすべきこと  
を念頭に置きながら、危機意識を  
高めているとこです。

また、年末には、本校児童の自  
転車事故が発生しており、学区内  
の交通安全についても注意が必要  
です。大人が指導すべきことをし  
っかり指導することはもちろんで  
すが、子ども自身が「自分の命は、

自分で守る」という意識をさらに  
高めていかなければならないと感  
じています。ご家庭のご理解、ご  
協力を宜しくお願いいたします。

#### 大谷選手からのグローブ

本校にも、大谷翔平選手からの  
三つのグローブが届きました。「野  
球しようぜ」と、大谷選手からの  
メッセージが添えられています。  
ニューバランスの製品で非売品の  
特注品です。始業式の時に子ども  
達に披露しました。各学級の子ど  
も達に実際に触れてもらい、野球  
への魅力が広がればよいと思いま  
す。大谷選手に憧れて、夢をもつ  
てほしいものです。おうちの方で  
グローブを見てみたい方は、どう  
ぞ学校に来てご覧ください。

学校関係者各位

貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上  
げたプログラムをご紹介します。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。  
それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボル  
となることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてく  
れたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的  
なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。  
貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平

【一緒に届いたメッセージ】



#### ウインタースクール

十二月二十五日、二十六日の二  
日間、ウインタースクールを実施  
しました。自ら進んで学習をしに  
来た三十人余りの子ども達。自主  
性が見られて立派でした。今回は、  
教員を目標している福島大学の学  
生さんと安積黎明高校の生徒さん  
に学習を支援してもらいました。  
「難しかったけど、お姉さんに分  
かりやすく教えてもらえたので、  
問題ができました。うれしかった  
です。」

と、目を輝かせて子どもが感想を  
話していました。子どもに年齢が  
近い生徒がもっているアドバイスの  
言葉が効いていたようです。

